

令和元年 佐賀県PTA連合会定期総会開催

佐賀新聞社
取締役編集本部長 澤野 善文 氏

佐賀県PTA連合会
会長 江田 明弘 氏



発行所
佐賀市与賀町 1-24
佐賀県PTA連合会
☎0952-22276
印刷 佐賀印刷社

発行責任者
会長 江田 明弘

語り合おう!
「家庭の日」
(毎月第三日曜日)

小学校の部 中原小学校PTA
「なかばる」

第40回PTA新聞コンクール最優秀賞受賞

中学校の部 山内中学校PTA
「おやつばめ」

朝のこの情景を地域の方々や先生方保護者で黒川小学校の校訓でもある「仲よくがんばる」で見守っています。子どももいます。

インドネシアの人達もいるので、朝インドネシアの人にも子どもたちは「スマーパギー」とインドネシア語で「ハイタッチ」をしている

会員の皆様におかれましては日頃から単位PTAの活動にご尽力いただいていると思います。また佐賀県PTA連合会の事業に対してご理解、ご協力いただいてることに改めて敬意と感謝の意を表します。

去る六月一日には元号が令和に代わった最初の定期総会を終了することができました。

今回の定期総会では、安全互助会の運用と県PTA会費の実質的値上げについて、代議員の皆様のご承認をいただきました。

これまでの県PTA会費と安

全互助会の徴収金額を据え置

き、会員の皆様の負担を増やすことなく運営するための取り組みです。

保健業者を変更することにより、安い掛金で補償を充実させることができます。

また、安くなった掛け金の差額を県PTA会費に運用し会員減少による事業の縮小を回避するためのものです。

「子どもたちのための働き方改革」の決議文も承認していました。

これは先生方が心身ともに余

裕をもって学習活動をはじめとする教育活動を取り戻し、子どもたちの望ましい教育環境を整備するために佐賀県教育委員会と佐賀県PTA連合会が一緒になって行動を起こそうという提案です。

ランドセル



単位PTAにおかれましても校長先生を交えて先生たちの業務の軽減について話題にしていただきたいと思います。

令和元年度佐賀県PTA連合会、役職員一体となって会員の皆様方に見える、頼りになる佐賀県PTA連合会を目指して努力を続けていくつもりです。

単位PTAの皆様方相互の連合会全体の「糸」につながりますよう今後ともご支援、ご協力ををお願い申し上げます。

四月に進級、入学した子どもたちはとても楽しそうに登校しています。自分の体より大きいランドセルを背負って新一年生も頑張って登校しています。

私自身も会社に行く途中まで子どもたちと登校していますが、黒川町は山と川と海と自然がいっぱいです。またいろいろな虫や鳥などの生物が多く、子どもたちの足はつい止まってしまいます。とくに低学年は止まります。

私の子どもが六年生で登校班のリーダーで、低学年の子たちに歩くように注意見守りですが、いろいろな子どもたちの表情を見ることができ、今の見守りの楽しみになっています。

また、地域の方々や保護者の方々、先生方がよく子どもたちも元気に元気にしてくれますので、子どもたちも元気になります。黒川町にはインドネシアの人達もいますので、朝インドネシアの人にも子どもたちは「スマーパギー」とインドネシア語で「ハイタッチ」をしている

黒川小学校伊崎 進一

新副会長になりました



鳥栖地区 麓小P

今年度から鳥栖地区小中学校PTA連合会の会長として、佐賀県PTA連合会の理事を務めさせて頂きます竹下繁己です。初めての理事にも関わらず、副会長という要職にご推挙いただき、総会に於いてご承認頂きましたことに感謝致しておりますと共に、その重責をしっかりと全うしなくてはならぬと背筋が伸びる思いをしております。江田明弘会長をはじめ、諸先輩方のご指導ご鞭撻を頂きながら、理事の方々と力を合わせ、会員の皆様に必要とされる佐賀県PTA連合会となるよう、取り組んでまいりたいと思います。

さて、今年度の佐賀県PTA連合会は「親も子もともに成長！ともに進化！」をスローガンに掲げ、活動してまいります。

また、この交流の中で、意見交換や情報の共有がなされることが、子ども達の健全育成の環境整備に寄与していくと確信しております。会員の皆様におかれましては是非、このPTAの繋がりを大きく広げていただき、活発な活動をして頂きたいと思います。私といたしましても、しっかりと支援、協力できるように積極的に活動してまいりたいと思います。

今年度、会員の皆様に素敵なお会いと学びがあります事を祈念致します。

役 員	氏 名 (所属)	役 員	氏 名 (所属)
会 長	江田 明弘 (基里小)	副会長(校長会代表)	江口 浩文 (嘉瀬小)
副 会 長	佐伯玄一郎 (相知小)	監 事	野中 直弥 (東原庠舎中央校)
副 会 長	松永 太 (大町ひじり学園)	監 事	松尾 博雅 (西部中)
副 会 長	竹下 繁己 (麓小)	監 事	坂本 広樹 (循誘小)
副会長(母親代表)	石山 恵美 (佐志中)		

所属市郡	理事名 (所属単P)	評議員名(所属単P)	所属市郡	理事名 (所属単P)	評議員名(所属単P)
鳥栖地区	竹下 繁己 (麓小)	大石 友和(基里中) 園木 勝彦(田代中) 津川 典善(基山小)	西松浦郡	沖田俊一郎 (西有田中)	坂井 複(曲川小) 原 大介(有田小) 筒井 横子(曲川小)
三養基郡	原 晋介 (上峰小)	糸山新一朗(中原小) 原田 敏行(上峰小) 牟田 泰明(三根中)	武雄市	岡本 一喜 (山内西小)	重富 一也(北方小) 中尾 真徳(東川登小) 野邊田康輔(若木小)
神埼地区	吉岡 一路 (千代田西部小)	橋本 淳一(神埼小) 鐘ヶ江登美子(千代田西部小) 實松 清之(千代田西部小)	杵島郡	松永 太 (大町ひじり学園)	田中 秀明(大町ひじり学園) 南里 豊(福富中) 吉原 克浩(有明西小)
佐賀市	小林 敬治 (鍋島中)	八坂 要(成章中) 古賀 信忠(大和中) 小林加代子(城西中)	鹿島市	馬場 照夫 (鹿島小)	熊本 英俊(七浦小) 鶴 健太(古枝小) 江頭 晋介(浜小)
小城市	釤本 美文 (芦刈観瀬校)	田中 慎也(三日月小) 岩野 琢磨(桜岡小) 山本 哲生(牛津中)	嬉野藤津	田中裕一郎 (久間小)	小池 正人(塩田小) 上戸 良太(大浦小) 野崎 武人(塩田中)
多久市	陣内 敬 (東原岸西小溪校)	真子 真波(東原岸西小溪校) 辻 恒浩(東原岸西中央校) 豊川 香(東原岸西東部校)	母親副委員長	田中 真紀 (伊万里中)	事務局 分掌事務
唐津地区	佐伯玄一郎 (相知小)	古川 一郎(七山小中) 志佐 耕一(鏡中) 前田 勇作(大良小)	母親副委員長	辻 由美 (五町田小)	轟木 政隆 総括
伊万里市	前田 勉 (伊万里小)	宗 誠(立花小) 本多 正男(青嶺中) 溝口由香理(国見中)	新聞編集委員長	瀬戸健太郎 (鳥栖小)	坂井 範子 事務
					宇井 幸子 事務

千葉県野田市での小学四年生の虐待死
川崎市でのスクールバスを待つ児童への殺傷など、子どもの痛ましく、悲しい事件が相次ぎ、報道される度に、いたたまれなくなります。被害にあつた子どもたちを、また加害者に対し何かできなかつたのだろうか。相談できる仲間や身内はいなかつたのだろうか。相談できる仲間や身内はいなかつたのだろうかと問いかけてしまいます。

今、社会環境は大きく変わりつつあります。特に、「人のつながり」において、顔を合わせ、会話を通しての関わりではなく、SNS等の機器を介しての関わりが多くな

今年度、佐賀県PTA連合会の副会長を努めさせていただきます嘉瀬小学校校長の江口浩文です。

A black and white portrait of Wang Qishan, a middle-aged man with glasses, wearing a suit and tie.

県小中学校校長会代表
嘉瀬小 校長

り、複雑・多様化しています。それらは結びつきの強さという点においてはいかがでしようか。

そこには、顔と顔を合わせ、互いの声が聞こえる距離での活動を展開する佐賀県PTA連合会の役割があるものと考えます。しかし、PTAだけでは、大きな展開にはなりません。ぜひC（地域コミュニティ）を巻き込み、PTCAとして、地域とともに歩みを進めるPTA活動になればと思います。

「子どもたちの笑顔と笑い声」は、PTA活動の願いであり、同じく地域の願いでもあります。子どもたちが大きな夢を抱き、希望を育んでいけるよう家庭・学校・地域の連携づくりに向け、微力ではありますが頑張ります。

令和元年度 基本方針・努力目標・事業計画

1. 基本方針

【日本PTA全国協議会綱領】

公益社団法人日本PTA全国協議会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育、家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と毎年の総合評議会を開催して、多くの団体に寄り添うことを目的とする。

佐賀県PTA連合会は日本PTA全国協議会の綱領と同じ目的を持った県下の単位PTAの集合体です。市都連PTA（単位PTA）との相互の連絡調整を図り総意を形成し、行政や関係諸団体と協議・研究を行い、連携して子供たちの健全育成とPTA会員の資質向上及び教育の振興に取り組んでいます。

振興を図ることを本務としています。
本連合会は市郡連PTA（単位PTA）と行政と関係諸団体を結ぶ三者の架け橋の役割を果たしていくため、信頼関係の構築を基本とし積極的に活動していきます。
これまで以上に、これからも様々な団体や佐賀県民のみなさまと協力体制を築きながら、

会員のみなさんに必要とされる組織体系を構築してまいります。

【スローガン】

- 2. 努力目標**

(1) 組織・運営
会員の意識と連帯感の向上を図る。

(2) PTA活動の充実と活性化
県内PTAの親睦と交流を深めるために必要な研究活動や情報発信をおこない、市郡連PTA活動の支援につとめる。

(3) 家庭・地域との連携と地域活動の活性化
教育の原点は家庭にあることを再認識し、家庭や地域社会の教育力を高めるために学校・家庭・地域社会がそれぞれ、適切な役割分担を果たし、相互に理解・連携につとめる。

(4) 働き方改革に係る教育環境の改善
教職員の多忙化を緩和し、子供たちをめぐる教育環境をより充実させるため、市郡連PTAや単位PTAと連携し佐賀県教育委員会及び市町教育委員会などと話し合い、学校教育活動の中でPTAが協力できる活動を洗い出し、具体的な活動を起こす。また社会教育諸団体等と連携し地域社会の教育力の再構築に向け働きかけを行う。

(5) 情報・資料提供の推進
PTA活動に関する情報・資料収集を行い情報提供を行うなど、会員の学習と共通理解を深める。

(6) 会員や児童生徒の安心感を確保する取り組み
単位PTA活動を円滑且つ安全に行うためにPTA安全互助会事業を行う。また、会員及び子供の日常の生活の安全・安心感の充実のため、小中学生総合保障制度加入を奨励する。

(7) 健全な財政と組織の充実
これからからの事業をより拡大、充実させるため健全な財政を確立し組織の充実整備をめざす。

3. 事業計画

(1) 研究・研修活動

 - ・PTA広報セミナーへの参加奨励（5・6月）・母親役員研修会（7月）
 - ・日本PTA兵庫大会参加奨励（8月）九州ブロックPTA福岡県大会参加奨励（10月）
 - ・県教育委員会と県P連理事の合同研修会（8月）
 - ・県小中学校校長会と県P連理事と母親委員との合同研修会（9月）
 - ・佐賀県PTA連合会研究大会（11月）・市郡連リーダー研修会（1月）
 - ・県退職校長会、高等学校PTAと正副会長との合同研修会（1月）
 - ・市町教育委員会との意見交換会

(2) 広報活動

 - ・県PTA新聞の発行（年間6回）・HP（ホームページ）による情報提供

(3) 市郡連PTAの交流事業

 - ・市郡連親睦母親ミニソフトバレーボール大会（10月）

(4) 表彰事業

 - ・優良単位PTA及び会員表彰（6月）・優良PTA新聞表彰（6月）
 - ・三行詩コンクール出品奨励（7月）・いじめ防止標語コンクール出品奨励（10月）

(5) 市郡連・単位PTAへの支援事業

 - ・市郡連研修補助事業・小規模単位PTA支援事業
 - ・小中学校総合保障制度加入促進事業・市郡連事務局充実事業

(6) 家庭・地域との連携と地域活動の活性化事業

 - ・「学力向上」「ノーテレビノーゲームデー」「あいさつ運動」「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発活動
 - ・「子育て応援メッセージ」活動・ICT機器の利用に関するルール作りへの啓発活動

(7) 児童生徒の安全・安心を守る事業など

 - ・「県下一斉安全指導」（6月・9月）・佐賀県PTA連合会安全互助会
 - ・小中学生総合保障制度加入奨励・いじめを防止するための取り組み
 - ・防災マップコンクール出品の奨励・あんぜんMYマップ取り組みの紹介

(8) 保険事業

 - ・佐賀県PTA連合会安全互助会・小中学校総合保障制度加入促進
 - ・「日本PTA全国協議会・団体個人情報漏えい補償制度」加入奨励



若基小野下理香

東原岸西渓校久保ユカ

振り返ると、ちゃんと子育てをやつてきたのかというと自信はありませんが、子どもがついてくれた事に感謝です。フルタイムの仕事で、手の足りなさを痛感させられる事も度々。それでもここまでこられたのも、地域の方が笑顔で接してくれた事が力となったり、先生方の御協力なくしてはありえません。その中で大切にしているのは、一緒に活動する時間を作ることです。休日は、野球やサッカーで汗を流し、夏はブルや魚取り、冬はロードレース等に出場しています。そういう接し方のせいか、友達との遊びで人数が足りないからと、呼び出しがかかる事も…。私が一番楽しんでいるかもしません。

近頃は、自律心が芽生え、と同時に反抗心も出てきています。幼い頃に書いてくれたハートマーク付きの手紙。もう書いてくれないかもしれないけれど、反抗期を受けとめる物の一つになることがあります。

元気においさつ 笑顔でね 食卓でつくる 家族の絆

○受けとめよう! 子どもの心 メッセージ

○伝えよう! ルールを守って 情報モラル

○見守ろう! 地域ぐるみで 輪になつて

○話し合おう!

ともに学び!ともに成長!

ともに応援メッセージ

弥生が丘小学校の PTA活動

会長 平山美由紀

弥生が丘小学校は、昨年創立十周年を迎えました。鳥栖市内では一番新しい小学校です。隣にはサガン鳥栖の練習場があり、児童が横断幕を作つて応援したりしています。

設立当初三八七名だった児童は、平成二十八年には一〇〇〇名を超え、現在は九〇〇名の児童が在籍しています。

毎年秋に行われる運動会では、多くの保護者が来校するため、皆が心地よく観覧できるように、地区テントや個人テントの区画を決めて対応しています。テントの場所について希望アンケートを取り、児童がくじ引き、当選した世帯は決定しました。テントの区画になっています。テントの区画

は、地区テント(五地区)一三五区画、個人テント一三九区画、計二七四区画あります。決められた区画以外の場所については、テントを立てないように敷物等で場所を取つていただくようになります。また、昨年から昼食の時間に体育館や校舎を開放しておられ、以前より余裕を持って場所を守りながら観覧しています。

テントくじの作成、くじ引き、対応、テント区画のライン引き、地区委員会や一世帶一役(世帯ごとに年に一回のPTA活動の

東原岸西渓校中央校PTA活動

副会長 辻恒浩

わが校は、平成二十五年四月に小学校三校と中学校一校を再編し、小中一貫校となりました。現在では義務教育校として、九年間の学びの場となっています。

九年生(中学三年)の三学期始業式の日に、高校受験の激励会として、PTA行事「ぜんざい会」を毎年開催しています。これは、再編前の中学校から続ってきた行事で、毎年九年生の保護者が企画し、PTA役員OBの方々の協力のもと統いています。

PTA役員OBの方々の協力のもと統いています。

のゆるキャラ「たく翁さん」も応援に駆け付けてくれます。「ぜんざい会」のメインは、その名称通り九年生の保護者が作つた「ぜんざい」の振る舞いです。ぜんざいは九年生の保護者で前日の夜から仕込み作業を行ひ、当日の朝早くから仕上げていきます。



佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先 : **0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン)
受付時間:平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社 : AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

2019年6月現在の内容です。